

類別：器 30 結紮器及び縫合器
一般医療機器 再使用可能な体内用血管クリップ（35640001）

一時止血用クリップ

【警 告】

1) 本品は未滅菌であるので、必ず適切な滅菌を行い、滅菌されたことを確認してから使用すること。

【禁忌・禁止】

適用対象（患者）

1. 本品は、一時止血用クリップとして使用する以外の目的には、使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

《構成》

1. 組成

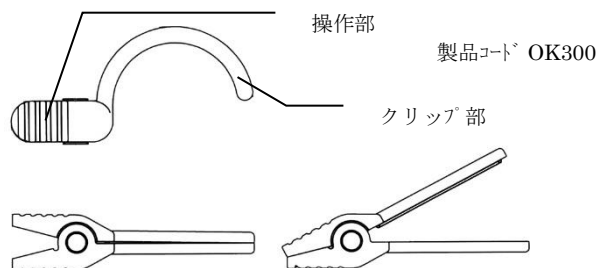
本体：SUS304

スプリング：SUS304

軸：SUS304

2. 形状・構造

体内血管の一時止血用クリップ。



《原理》

操作部の操作による、クリッピング部の開閉。内臓スプリングによるクリップ部の閉鎖力を得る。

【使用目的又は効果】

本品は、ステンレスの材料からなる、一時止血用クリップ。
端側吻合、端端吻合などに使用するクリップ。

【使用方法等】

- 1) 本製品は、未滅菌品ですので、開封後、滅菌してからご使用ください。
- 2) 本品の表面一部に記載の文字は、クリップ力を表しています。数値のみ記載してありますが、単位は gf です。
- 3) 操作部を掴むことにより、クリッピング部の開度が広がります。所定の部位に挿入後、ゆっくりと掴む力を弱めると、クリップ部が閉じ、内部スプリング力により必要とする部位の把持が出来ます。

【使用上の注意】

- 1) 金属素材よりも充分柔らかいものをはさむ事。万一金属等を挟み込んだ場合に、クリップ部が損傷して鋭利な部分が残る、次回使用するとき、血管を傷つけることがあるので、使用前に、クリップ部に傷・腐食等が無いことを確認すること。
- 2) 本品の使用により感作又はアレルギー反応を呈する可能性がある患者には使用しないこと。
- 3) 使用後は適切な滅菌処理をすること。
- 4) 使用するたびに、クリップ力は、少しずつ低下します。約 10 回で 2 割程度クリップ力が低下することがあります。

＊ ＊ 《重要な基本的注意》

- 1) 医療用の目的以外には使用しないこと。
- 2) 添付資料を事前に読んでから使用すること。
- 3) 血管膜厚によっては、十分に止血できないことがあります。
- 4) 本品がハイリスク手技に使用された場合には、プリオン
病感染予防ガイドラインに従った洗浄、滅菌を実施すること。
- 5) 本品がプリオン病の感染症患者への使用及びその汚染が疑わ

れる場合には、製造販売業者又は貸与業者に連絡すること。

《その他の注意》

1) 洗浄：

- (1) 使用後は直ちに酵素性剤等に浸漬させ、器具類に付着した血液、体液、組織等を乾燥させないこと。
- (2) 腐食（錆び）の原因となるので、洗浄の際、磨き粉や金属ウール・金属ブラシ、クレンザー（磨き粉）等は、使用しないこと。
- (3) ウォッシャー・ディスイنفクターを使用するだけでなく、鉗子などのロック機構などは用手洗浄を併用して洗浄すること。
- (4) 用手洗浄は、酵素洗剤液中で関節部をよく動かしながらブラシでこすること。
錆取り、熱焼け除去作用のある洗浄剤を使用すると表面の光沢が変化することがある。
- (5) 器具に付いた洗浄液の残留が無いよう、精製水等により、良くすすぐこと。
- (6) すずぎに使用する水は精製水、などの清水で洗浄すること。水道水は残留塩素や有機物により錆が発生することがあります。
- (7) 錆び取りをした後は、予防のためにステンレス再活性液などに浸漬洗浄することをお勧めします。

2) 消毒：

- (1) アルカリ／酸性洗剤・消毒剤は、器具及びケースを腐食させることがあるので、使用しないこと。
- (2) 器具に付いた消毒液の残留が無いよう、精製水等によりよくすすぐこと。
- (3) 消毒後の器具は、長期間水分が付着すると錆びることがあるので、直ちに乾燥させること。
- (4) 包装：滅菌方法に適した包装材料を使用すること。

《相互作用》

他の医療機器との併用使用はない。

《不具合・有害事象》

【不具合】

置き忘れによる、組織等の拒否反応。

【保管方法及び有効期間等】

《貯蔵・保管方法》

- 1) 高温、多湿、直射日光及び水ぬれを避けて室温で保管すること。
- 2) 使用後は、滅菌後保管すること。

《使用の期限》

機構部の損傷が発覚した場合や、約 10 回の開閉により機能（クリップ力）低下が発生した場合には、止血できない場合もあるので、使用を止め、廃棄すること。

＊【主要文献及び文献請求先】

株式会社 ベアーメディック
電話番号：03-3818-4041

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

株式会社 ベアーメディック
電話番号：03-3818-4041